別紙様式第５－１号

編修趣意書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
１０６－１４０	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名		
５０ 大修館	家基０５０－９０２	New Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう		

1　編修の基本方針

生活を主体的に創造する
生活マネジメント力の育成をめざす教科書

教育基本法等に示されている教育の理念をふまえ，生徒が未来社会を切り拓くために必要な資質・能力を確実に育成して，生涯を通して「生きる力」に必要な家庭科の知識・技術の習得をめざすとともに，自立と共生を兼ね備えた自己の生活や社会を主体的に創造する実践力のある，心身ともに健全な人間の育成に寄与する教科書をめざしました。

共生力をそなえた 自立力

●**自己実現**を志向して**生活を主体的に創造する力**をつけることを教科書全般にわたって配慮しました。
●**男女がともに**理解し合い，協力し合って，これからの**家庭や社会を築く**ことをめざす内容にしました。
●子どもや高齢者，障がいがある**人々とのかかわりや福祉**について考え，**ともに生きる生活を築く**ことをめざす内容にしました。

生活や社会をつくる 実践力

●社会の変化に対応して自立した生活を創るために必要な**基礎的・基本的な知識・技能**を確実に身につけることができる内容にしました。
●歴史の中で培ってきた衣食住に関する生活文化を学び，自ら**その継承と創造の担い手**になる内容としました。
●**持続可能な社会**をめざして，地球規模での環境保全と身近な生活とのかかわりについて考え，実践することをめざす内容としました。

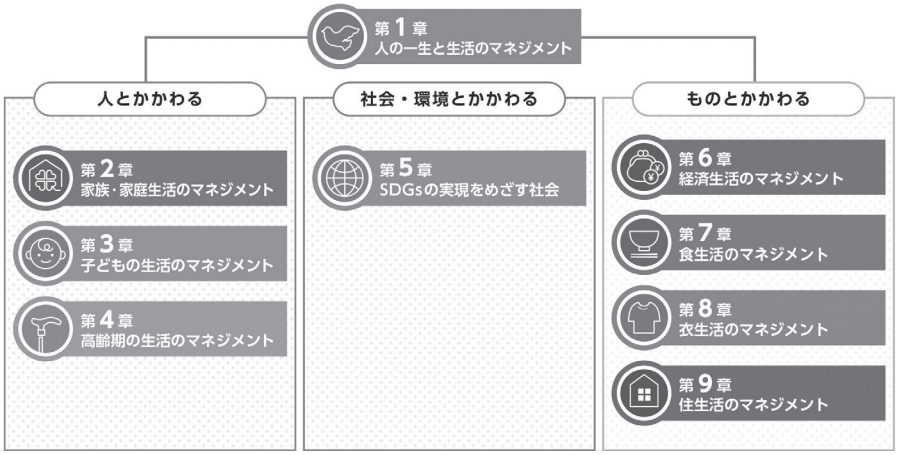
“もっともよい答え”を探し続ける 解決力

●自ら生活における問題を見出し，課題を設定して，**問題を主体的に解決する**学習方法を重視するようにしました。
●意思決定のプロセスを学ぶとともに，決定に際しての価値判断に必要な的確な資料等を豊富に用意し，**適切な意思決定ができる力を身につける**内容としました。

かかわりを意識して 生活と向き合う力

●生活を**「人とのかかわり」「ものとのかかわり」「社会・環境とのかかわり」**という**３つの空間軸**からとらえられるようにしました。
●３つの空間軸に**「人の一生」**という**時間軸**を通し，**家庭科の見方・考え方**を基盤にして，生涯，生活と向き合っていける力を身につけられるよう配慮しました。

●教科書の構成



2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	●家庭科がフィールドとする「生活」というもののとらえ方，生活の営みにかかわる見方・考え方，学習を通して身につけていく力など，家庭科を学ぶことの意義についてわかりやすく解説しました。（第１，２号）	巻頭❺〜❻
	● SDGs，Better Life Index，well-being といった世界の潮流を紹介し，家庭科が生活にとどまらず，世界的な課題と大きく関係していることを理解できるようにしました。（第１，５号）	巻頭❻，❽
	●生活課題とその解決について，生活資源，問題の種類や解決手順の例示によってわかりやすく示し，今後の学習や生活にいかせるようにしました。（第２号）	巻頭❾〜❿
第１章 人の一生と生活のマネジメント	●人のライフステージと発達課題および自分をみつめ，人生を展望することを取り上げました。（第２号）	p. 2〜3
	●青年期の特徴と課題について取り上げ，今の自分と将来の自分について展望できるようにしました。（第２号）	p. 4〜5
	●自立の種類と目標を示すとともに，生命への責任，共生と多様性，持続可能性との関係を示し，自立の社会的な側面についても意識できるようにしました。（第２，３号）	p. 6〜7
	●主体的な人生を築くためには意思決定が必要なことと，適切な意思決定をおこなう方法について取り上げました。（第２号）	p. 8〜9
	●ライフスタイルの選択について，時間，職業選択，役割などの要素と関連づけて取り上げました。（第２，３号）	p.10 〜 11
第２章 家族・家庭生活のマネジメント	●現代の家族のようすについて取り上げました。（第１号）	p.16 〜 17
	●家族の人間関係と家族に起こる問題とともに，コミュニケーションの重要性について取り上げました。（第１，２号）	p.18 〜 19
	●家庭の機能，家庭の機能の社会化の進展について取り上げるとともに，家庭生活と職業生活のバランスについて取り上げました。（第２，３号）	p.20 〜 21
	●家族・家庭に関する法律を取り上げ，法律の視点から家族・家庭について考えられるようにしました。（第１，２，３号）	p.22 〜 25
	●男女共同参画社会，ダイバーシティの実現をめざす家庭と社会の創造について取り上げました。（第３号）	p.26 〜 27
第３章 子どもの生活のマネジメント	●子どもの時期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。（第２号）	p.32 〜 33
	●子どもの成長・発達と母体の健康，妊娠・出産において，生命の尊さを取り上げました。（第１，４号）	p.34 〜 35
	●子どもの成長・発達のようすについて取り上げました。（第１号）	p.36 〜 41
	●保育において基本的生活習慣，社会的生活習慣を身につけることとともに，家庭保育と集団保育の果たす役割を取り上げました。（第２号）	p.42 〜 43
	●子どもの遊びの発達，児童文化財と伝承遊びについて取り上げました。（第５号）	p.44 〜 45
	●子どもの心身の特徴，健康と安全，課題について取り上げました。（第１号）	p.46 〜 47
	●子育てにおける親の果たす責任とともに，子育てから得られるものや自分の人生とのかかわりについて取り上げました。（第２，３号）	p.48 〜 49
	●子どもの人権と福祉について具体的に取り上げました。（第３号）	p.50 〜 53
	●子どもとのふれあい方について取り上げました。（第１号）	p.54 〜 55

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第4章 高齢期の生活のマネジメント	●高齢期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。（第２号）	p.60 ～ 61
	●高齢期の心身の特徴，健康と課題について取り上げました。（第１号）	p.62 ～ 63
	●高齢者の生活のようすや社会とのかかわり，活躍のありよう，高齢者福祉の理念と理念を実現するさまざまな施策を取り上げました。（第２，３号）	p.64 ～ 65
	●高齢者等の介護には，その人らしさを尊重する支援が必要であり，その方法について具体的に取り上げました。（第２，３号）	p.66 ～ 67
	●これからの高齢社会について取り上げました。（第３号）	p.68 ～ 69
	●高齢者の日常生活を支える介助の方法について取り上げました。（第１号）	p.70 ～ 71
第5章 SDGs の実現をめざす社会	●生活の問題と課題，リスクについて取り上げ，生活における共生の大切さと，共生を維持するしくみについて取り上げました。（第２，３号）	p.76 ～ 77
	●社会保障と社会福祉について具体的に取り上げました。（第３号）	p.78 ～ 79
	●共生社会の一員としてのあり方，地域共生社会とボランティア活動，ノーマライゼーションやユニバーサルデザインの考え方などについて，生活と社会の具体例から確認できるよう取り上げました。（第２，３，４，５号）	p.80 ～ 81
	●環境保全について地球規模で考え，身近なところから行動することを取り上げました。（第４号）	p.82 ～ 83
	●環境保全の視点からライフスタイルや生活を改善することを取り上げました。（第４号）	p.84 ～ 85
	●持続可能な社会をめざす環境基本法やプラスチック資源循環法などの法律を取り上げながら，それを実現していくのは，私たち一人ひとりであることを意識できるようにしました。（第４号）	p.86 ～ 87
第6章 経済生活のマネジメント	●経済的に自立すること，働くことについて具体的に取り上げました。（第２号）	p.92 ～ 93
	●家計と社会のかかわりについて取り上げました。（第２号）	p.94 ～ 95
	●生活上のリスクへの対応，家計管理と資金管理，金融商品や投資など，生涯を見通した経済計画の重要性について具体的に取り上げました。（第１，２号）	p.96 ～ 97
	●契約について，18 歳成人との関係を重視しながら取り上げました。（第１，２号）	p.98 ～ 99
	●キャッシュレス社会の進展にともなう購入方法や支払い方法の多様化について具体的に取り上げました。（第１，２，３号）	p.100 ～ 101
	●消費者信用と多重債務，借金について具体的に取り上げました。（第３号）	p.102 ～ 103
	●消費者問題について，社会背景，法律，悪質商法の種類など具体的に取り上げました。（第１，２，３号）	p.104 ～ 105
	●消費者の自立と，それを支援する消費者保護と法律について取り上げました。（第１，３号）	p.106 ～ 107
	●生活情報と情報を判断するときに必要な能力について取り上げました。（第１号）	p.108 ～ 109
	●消費者の権利と責任ある行動について取り上げました。（第３号）	p.110 ～ 111
	●資産形成と投資について，必要な視点や情報を取り上げました。（第３号）	p.112 ～ 113

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第7章 食生活のマネジメント	●健康な体を養うために食事の役割と生活リズムの関係を取り上げました。（第１号）	p.118 ～ 119
	●１日の食生活にそって課題をあげながら，食を見直す視点とその大切さを取り上げました。（第１号）	p.120 ～ 121
	●栄養素と食品と食事の関係について，高校生に必要な栄養素量や食事量と関連させて取り上げるとともに，ライフステージに応じた食生活において栄養バランスのとれた食事が重要であることを取り上げました。（第１号）	p.122 ～ 125
	●栄養素と食品の関係について，調理性とかかわらせて取り上げました。（第１号）	p.126 ～ 149
	●食品の選択，食品表示，食中毒への対応など，食の安全を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。（第１号）	p.150 ～ 155
	●食生活と環境について，循環・資源・調和の視点から取り上げました。（第４号）	p.156 ～ 157
	●健康の維持を目的に，食事を計画する意味と方法について，具体的に取り上げました。（第１号）	p.158 ～ 161
	●食事をつくるのに必要な知識や技術について，具体的に取り上げました。（第１号）	p.162 ～ 169
	●主食，主菜，副菜，汁物と栄養素，食品の関係をつかんで，実生活にいかせるような実習題材を取り上げました。（第１号）	p.170 ～ 177
	●日本の食文化について，家庭や地域，国際的な視点から取り上げるとともに，伝統的で豊かな食文化を継承・発展させる重要性について取り上げました。（第５号）	p.178 ～ 179
第8章 衣生活のマネジメント	●人と被服のかかわり，現代の衣生活の状況について取り上げました。（第１号）	p.184 ～ 185
	●快適な生活を支える被服の機能について健康維持，自己表現，社会文化的背景とのかかわりにおいて取り上げるとともに，ライフステージとの関係について取り上げました。（第１号）	p.186 ～ 189
	●被服材料と性能について科学的に取り上げました。（第１号）	p.190 ～ 193
	●被服の管理を効率的かつ科学的に営む視点を取り上げました。（第１号）	p.194 ～ 195
	●被服による事故や健康障害などについて具体的に取り上げ，被服の安全や衛生を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。（第１号）	p.196 ～ 197
	●衣生活を計画的に営むことについて SDGs と関連づけて取り上げました。（第４号）	p.198 ～ 199
	●衣生活と環境について循環・資源・調和の視点から取り上げました。（第４号）	p.200 ～ 201
	●環境問題の解決に寄与でき，実生活にいかせる小物製作題材を取り上げました。（第１号）	p.202 ～ 203
	●衣文化の成り立ちについて，衣生活の変遷等の歴史的視点や世界の民族服等の国際的な視点から取り上げました。（第５号）	p.204 ～ 205
第9章 住生活のマネジメント	●住まいの機能と住まい方について具体的に取り上げました。（第１号）	p.210 ～ 211
	●住文化の成り立ちを住様式の変遷等をふまえて取り上げました。（第５号）	p.212 ～ 213
	●住空間について，ライフスタイルやライフステージとの関係から考え，具体的にイメージできるようにしました。（第１号）	p.214 ～ 215
	●快適で健康な住生活について取り上げました。（第４号）	p.216 ～ 217
	●事故や犯罪，災害などの具体的事例をあげながら，住の安全を自ら維持する必要性と技能について取り上げました。（第１号）	p.218 ～ 219
	●環境保全につながる住生活の管理について取り上げました。（第４号）	p.220 ～ 221

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第9章 住生活のマネジメント	●住環境とまちづくりについて，地域社会の一員としてのありようを具体的に取り上げました。（第3，4，5号）	p.222 ～ 223
	●住文化の成り立ちを住様式の変遷等をふまえて取り上げました。（第5号）	p.226 ～ 227
巻末	●職業および生活との関連を，キャリア，ワーク・ライフ・バランス，自己実現の視点から取り上げました。（第2号）	p.231
	●自分らしい生き方のライフプランについて取り上げました。（第2号）	p.232 ～ 233
	●家庭科で習得した知識や技術を活用し，よりよい生活を築くためにホームプロジェクトを，よりよい地域社会を築くために学校家庭クラブ活動を取り上げ，地域社会と連携して活動することを取り上げました。（第3号）	p.234 ～ 237

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 ライフプラン・生活マネジメントと学習をリンクさせる展開

家庭科の最終到達目標であるライフプランの立案能力および生活マネジメント能力の獲得を確実なものにするため，各章末に課題を設定し，各学習のまとめとともに記録を残していけるようにし，最後に，記録を振り返りながら，一生涯を通したライフプランを立てる総まとめの課題に取り組んで，学習を総括できるようにしました。（第1，2号）

▶例：p.12 ～ 13　　Try ！ ライフプラン 人生の主人公になろう
　　p.29（各章末）　Try ！ 生活マネジメント
　　p.231 ～ 233　　Try ！ ライフプラン 人生の設計図をつくろう

2 金融教育との関連づけ

生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について，資産形成と投資を軸に多面的・具体的に取り上げ，金融教育の充実をはかりました。（第2号）

▶ p.112 ～ 113　資産形成と投資

3 キャリア教育との関連づけ

各章とびらで，学習分野に関連する仕事や活動をする人のインタビューを掲載し，生徒が人生や仕事について考える参考になるような特集を掲載しました。また，各章末で，学習分野に関係する仕事や資格の例を紹介するとともに，実際に仕事を探すときのアドバイスを掲載し，キャリアについて具体的に考えられるようにしました。（第2号）

▶例：p. 1（各章とびら）# Career
　　p.14（各章末）お仕事紹介・キャリアコンサルタントによる仕事探しのアドバイス

4 環境教育，SDGs との関連づけ

各学習と SDGs を関連づけられるように，右ページに SDGs アイコンを配し，学習と関連するものを色づけすることで，生活や学習が世界的な課題の解決とつながっていることを意識できるようにしました。（第4，5号）

▶例：p.5　SDGs マーク

5 応用力を試す実践課題

各章末に設定した実践課題「SKILL UP」は，学習で獲得した知識・技能を応用して解決する課題を設定し，実生活での応用力があるかを試せるようにしています。（第2，3，4，5号）

▶例：p.28　SKILL UP

別紙様式第５－２号

編修趣意書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
１０６－１４０	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名		
５０ 大修館	家基０５０－９０２	New Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう		

1　編修上特に意を用いた点や特色

1　学習しやすい紙面展開

左側に本文，右側に図表等の資料をまとめる紙面展開にし，授業中や自学自習時に，本文を読む，図表を確認するといった学習活動ができるかぎり迷いなく進められるように配慮しました。

2　学習内容をつかみやすい本文

学習内容を要約した「見出し」とキーワードを押さえながら読み解く本文で，学習内容を的確に理解することができるよう配慮しました。

3　授業のユニバーサルデザイン

本文では「ふりがな」を多くふり，留学生など日本語に不慣れな生徒も読むことができるように配慮しました。

図表については，カラーユニバーサルに配慮しました。文字はユニバーサルデザイン書体を使用し，可読性を高めました。

4　学習課題「Pick up！」

学習項目のタイトル下に，学習課題「Pick up！」を設定しました。学習を身近にし，学ぶ意味に気づき，学習を深められるよう設定しました。

＊ Pick up！で取り上げた課題の種類＊

- ●小・中学校までの知識・技能を確認する課題
- ●実際の生活や社会で起こっている事象を例に，自分の考えをまとめる課題
- ●グラフや写真等から考察してみる課題　など

▲ p.92 － 93　第６章 経済生活のマネジメント　1　生活を営むためのお金

5　環境教育，SDGs との関連づけ

各学習と SDGs を関連づけられるように，右ページに SDGs アイコンを配し，学習と関連するものを色づけすることで，生活や学習が世界的な課題の解決とつながっていることを意識できるようにしました。

6　図表・Plus keyword・COLUMN

本文のエビデンスや背景，補足等をする「図表」，本文中の用語解説をする「Plus keyword」，実生活で話題になっていることを取り上げた読み物「COLUMN」で，理解を促し，学習を深める工夫をしました。

❸ 共働き世帯の推移

Plus keyword　COLUMN

7　家庭科英単語

左ページ下に「家庭科英単語」を例示しました。本文に登場するキーワードを中心に英単語を紹介しています。

家庭科英単語

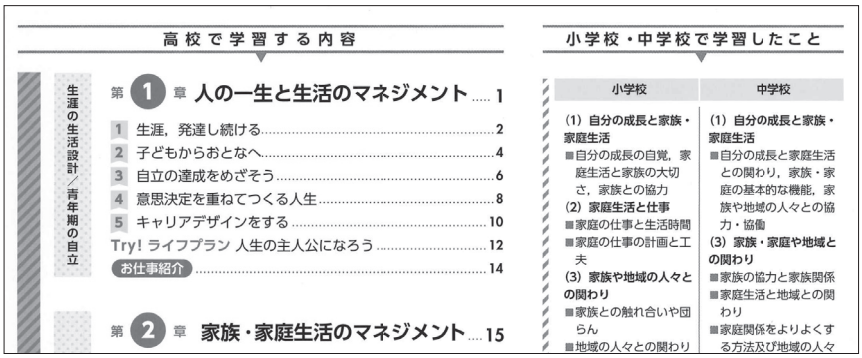
8　振り返り

右ページ下に「振り返り」を例示しました。「理解しておきたいこと」（**知識・技能**），「考えをまとめて表現できるようにしたいこと」（**思考・判断・表現**）など，学習成果をはかるめやすを提示しています。

振り返り

9 小中高の積み重ねが見えるもくじ

小学校・中学校で学習してきたこと（学習指導要領の骨子抜粋）を，本書のもくじと合わせて掲載しました。小・中で学習してきたことを確認し，高校で学ぶことや家庭科の系統性が見えるよう配慮しました。



巻頭❶ もくじ ▶

10 数々の充実した実践課題

学習課題「Pick up！」のほかにも，実践的・主体的・発展的に学習が展開できるように実践課題を充実させました。

＊実践課題の種類＊

- Active Learning！……学習したことを応用して取り組む課題
- Can you do it ？ ……将来を見据えて習得しておきたい技能の習得をめざす課題
- SKILL UP ……学習で獲得した知識・技能を応用して解決する課題

Active Learning!

Can you do it ?

SKILL UP

11 ライフプランを通して学習をまとめる構成

「ライフプラン」「生活マネジメント」と学習をリンクさせ，ライフプランの立案を通して学習のまとめができるようにしました。各章末で学習後に記録を書きため，それをもとに，学習の総まとめとして生涯を通したライフプランを立てる課題に取り組み，学習を総括できるようにしています（**主体的に学習に取り組む態度**）。

❶ Try！ライフプラン
人生の主人公になろう

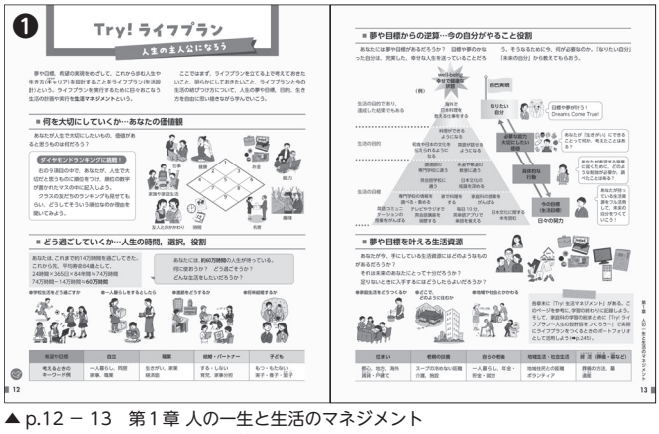
第１章の学習を総括しながら，「生活設計」と「生活マネジメント」について解説し，生活設計をする上で考えておきたいこと，これからの学習との結びつけ方などを解説しています。

❷ Try！ 生活マネジメント

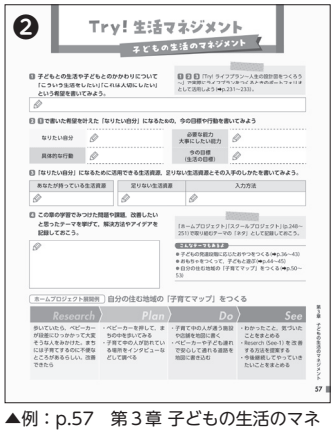
p.12 － 13 を参考にしながら，各章末で学習のまとめ，生活設計に必要な情報の記録，ホームプロジェクトのアイデアをまとめられるようにしています。

❸ Try！ライフプラン
人生の設計図をつくろう

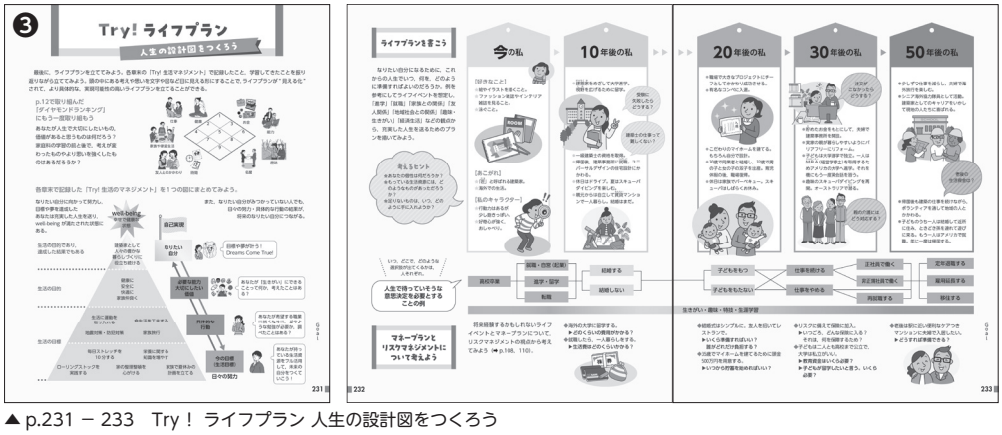
家庭科の学習の総まとめに，50 年後までを見通した具体的なライフプランを立てます。自分のノートやプリント，各章末の「Try ！ 生活マネジメント」の記録などを活用し，家庭科の最終到達目標である，生活設計力と生活マネジメント力を総合的に確認・評価できるようにしています。



▲p.12 － 13　第１章 人の一生と生活のマネジメント
Try！ ライフプラン 人生の主人公になろう



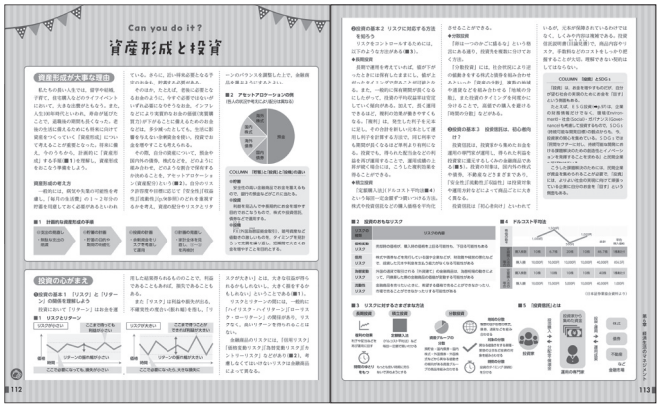
▲例：p.57　第３章 子どもの生活のマネジメント　Try！ 生活マネジメント



▲p.231 － 233　Try！ ライフプラン 人生の設計図をつくろう

12 金融教育の充実

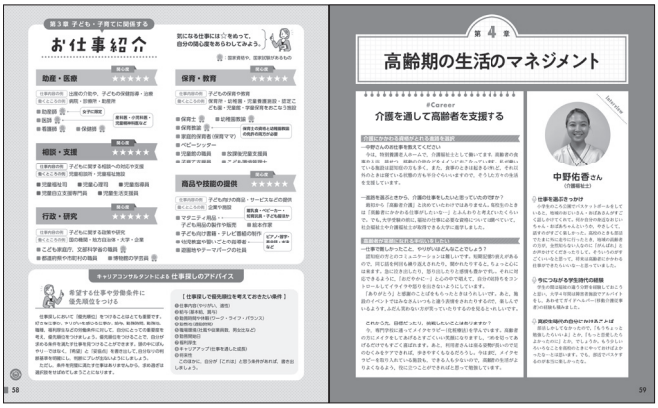
生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について，資産形成と投資を軸に多面的・具体的に取り上げたページを設け，金融教育の充実をはかりました。



▲ p.112 ― 113　第6章 経済生活のマネジメント Can you do it ？ 資産形成と投資

13 キャリア教育の充実

章とびらでは仕事や活動をする人のインタビューを，章末では仕事や資格の紹介と仕事探しのアドバイスを掲載。キャリアについて具体的に考えられるようにしました。



▲例：p.58 第3章 お仕事紹介／ p.59 第4章とびら #Career

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
もくじ（高校で学習する内容／小学校・中学校で学習したこと）	(1) 科目の性格（小・中・高等学校の系統性）	巻頭❶～❹	2
家庭科を学ぶということ	1 目標 内容の取扱い (1) ア	巻頭❺～❻	
家庭科を学ぶとこんな力がつく！～先輩たちの声～		巻頭❼	
SDGs と家庭科		巻頭❽	
よりよい生活をつくるとは？…生活問題の解決		巻頭❾～❿	
本書の使い方		巻頭⓫～⓬	
学習方法		巻頭⓭	
第1章　人の一生と生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭 内容の取扱い (1) ア，イ	p.1 ～ 14	4
1　生涯，発達し続ける		p. 2～3	
2　子どもからおとなへ		p. 4～5	
3　自立の達成をめざそう		p. 6～7	
4　意思決定を重ねてつくる人生		p. 8～9	
5　どんな生き方をする？		p.10 ～ 11	
Try ！ ライフプラン 人生の主人公になろう		p.12 ～ 13	
お仕事紹介		p.14	
第2章　家族・家庭生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭 内容の取扱い (1) ア	p.15 ～ 30	4
1　家族って何だろう		p.16 ～ 17	
2　わかってくれて当然？		p.18 ～ 19	
3　家庭は人生と生活マネジメントの拠点		p.20 ～ 21	
4　法律から見る家族・家庭		p.22 ～ 25	
5　ダイバーシティの実現をめざす		p.26 ～ 27	
SKILL UP いろいろな価値観にふれてみよう		p.28	
Try ！ 生活マネジメント		p.29	
お仕事紹介		p.30	
第3章　子どもの生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育 内容の取扱い (1) ア，ウ／ (2) ア	p.31 ～ 58	8
1　子どもの世界を知る		p.32 ～ 33	
2　命の誕生		p.34 ～ 35	
3　こんにちは，赤ちゃん		p.36 ～ 37	
4　好奇心いっぱい！		p.38 ～ 39	
●子どもの発達のようす		p.40 ～ 41	
5　子どものいる暮らし		p.42 ～ 43	
6　子どもの仕事は「遊び」		p.44 ～ 45	
7　子どもの健康と事故		p.46 ～ 47	
8　親になるということ		p.48 ～ 49	
9　子どもの人権と子育て支援		p.50 ～ 53	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Can you do it ？ 子どもとふれあおう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育 内容の取扱い (1) ア，ウ／ (2) ア	p.54 ～ 55	(8)
SKILL UP リサイクルおもちゃをつくってみよう		p.56	
Try ！ 生活マネジメント		p.57	
お仕事紹介		p.58	
第４章　高齢期の生活のマネジメント	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉 内容の取扱い (1) ア，ウ／ (2) ア	p.59~74	5
1　人生 100 年時代の高齢期		p.60 ～ 61	
2　年をとると変わること		p.62 ～ 63	
3　高齢期の生活を支える		p.64 ～ 65	
4　介護を支える		p.66~67	
5　これからの高齢社会		p.68 ～ 69	
Can you do it ？ 高齢者の介助を体験してみよう		p.70 ～ 71	
SKILL UP 高齢者の消費者トラブル防止に取り組もう！		p.72	
Try ！ 生活マネジメント		p.73	
お仕事紹介		p.74	
第５章　SDGs の実現をめざす社会	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5) 共生社会と福祉 C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 内容の取扱い (1) ア	p.75 ～ 90	5
1　生活課題の乗り越え方		p.76 ～ 77	
2　みんなで支え合うしくみ		p.78 ～ 79	
3　ともに生き，社会をつくる		p.80 ～ 81	
4　地球が危ない		p.82 ～ 83	
5　ライフスタイル再考		p.84 ～ 85	
6　めざせ！ 持続可能な社会		p.86 ～ 87	
SKILL UP できることから始めよう SDGs		p.88	
Try ！ 生活マネジメント		p.89	
お仕事紹介		p.90	
第６章　経済生活のマネジメント	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 内容の取扱い (1) ア，オ／ (2) ウ	p.91 ～ 116	8
1　生活を営むためのお金		p.92 ～ 93	
2　経済のしくみを知ろう		p.94 ～ 95	
3　お金と上手につきあう術		p.96 ～ 97	
4　18 歳で変わる消費生活		p.98 ～ 99	
5　進むキャッシュレス社会		p.100 ～ 101	
6　「お金を借りる」ということ		p.102 ～ 103	
7　消費者トラブルの今		p.104 ～ 105	
8　消費者の自立を支援する		p.106 ～ 107	
9　情報社会を生きる		p.108 ～ 109	
10　私たちが社会を動かす		p.110 ～ 111	
Can you do it ？ 資産形成と投資		p.112 ～ 113	
SKILL UP お金を「借りる」意義と責任を考えよう		p.114	
Try ！ 生活マネジメント		p.115	
お仕事紹介		p.116	
第７章　食生活のマネジメント	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康 内容の取扱い (1) ア，エ／ (2) イ	p.117 ～ 182	20
1　体と心を満たす食事		p.118 ～ 119	
2　食生活，イエローカードかも？		p.120 ～ 121	
3　「栄養バランスがよい」とは？		p.122 ～ 125	
4　炭水化物を摂る		p.126 ～ 127	
●Let’s Cook		p.128 ～ 129	
5　脂質を摂る		p.130 ～ 131	
●Let’s Cook		p.132 ～ 133	
6　たんぱく質を摂る		p.134 ～ 135	
●Let’s Cook		p.136 ～ 137	
7　無機質を摂る		p.138 ～ 139	
●Let’s Cook		p.140 ～ 141	
8　ビタミンを摂る		p.142~143	
●Let’s Cook		p.144 ～ 145	
9　豊かな食卓に		p.146 ～ 147	
●Let’s Cook		p.148 ～ 149	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
10　食品のプロフィールを知る	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康 内容の取扱い (1) ア，エ／ (2) イ	p.150 ～ 153	(18)
11　食品を安全に取り扱う		p.154 ～ 155	
12　持続可能な食生活		p.156 ～ 157	
13　みんなでおいしい食事をしよう		p.158 ～ 159	
Can you do it ？ 献立づくりに挑戦！		p.160 ～ 161	
14　調理のワザを身につける		p.162 ～ 169	
●調理実習（和食／洋食／弁当／災害時）		p.170 ～ 177	
●生活文化を継ぐ・つくる－食生活－		p.178 ～ 179	
SKILL UP パッククッキングに挑戦してみよう		p.180	
Try ！ 生活マネジメント		p.181	
お仕事紹介		p.182	
第8章　衣生活のマネジメント	B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康 内容の取扱い (1) ア，エ／ (2) イ	p.183 ～ 208	6
1　人と被服のかかわり		p.184 ～ 185	
2　被服の保健衛生的機能		p.186 ～ 187	
3　被服の社会的機能		p.188 ～ 189	
4　被服材料と性能		p.190 ～ 193	
5　被服を長持ちさせる手入れ		p.194 ～ 195	
6　被服と安全		p.196 ～ 197	
7　衣生活の PDCA		p.198 ～ 199	
8　持続可能な衣生活		p.200 ～ 201	
●製作実習（エコバッグ）		p.202 ～ 203	
●生活文化を継ぐ・つくる－衣生活－		p.204 ～ 205	
SKILL UP 衣類を選ぶ基準について考えよう		p.206	
Try ！ 生活マネジメント		p.207	
お仕事紹介		p.208	
第9章　住生活のマネジメント	B 衣食住の生活の自立と設計 (3) 住生活と健康 内容の取扱い (1) ア，エ／ (2) イ	p.209 ～ 230	6
1　住まいを知ろう		p.210 ～ 211	
2　日本の住文化を知ろう		p.212 ～ 213	
3　住む人の生活と住まい		p.214 ～ 215	
4　心地よく暮らすために		p.216 ～ 217	
5　安全に安心して暮らす		p.218 ～ 219	
6　住まいを長く使う		p.220 ～ 221	
7　住環境を見つめてみよう		p.222 ～ 223	
Can you do it ？ 家を借りてみよう！		p.224 ～ 225	
●生活文化を継ぐ・つくる－住生活－		p.226 ～ 227	
SKILL UP あなたのまちの住環境を考えてみよう		p.228	
Try ！ 生活マネジメント		p.229	
お仕事紹介		p.230	
Goal	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計 イ D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 内容の取扱い (1) ア，イ，ウ，カ	p.231 ～ 239	2
Try ！ ライフプラン 人生の設計図をつくろう		p.231 ～ 233	
ホームプロジェクトとスクールプロジェクト		p.234 ～ 237	
学びを伝え・みんなで共有する方法		p.238 ～ 239	
付録	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 B 衣食住の生活の自立と設計 C 持続可能な消費生活・環境	p.240 ～巻末	
人の一生にかかわる法律		p.240 ～ 241	
生活にかかわる法律		p.242 ～ 243	
日本人の食事摂取基準／４つの食品群別摂取量のめやす		p.244 ～ 245	
食品成分表		p.246 ～ 253	
災害への備えと心がまえ		p.254 ～ 257	
教科書に掲載している二次元コード（QR コード）コンテンツ一覧		巻末	
		計	70